平成２０年度

教科　音　楽　　第２学年	年間指導計画	
＊ 到達目標 【表現】 (1)　歌詞の内容や曲想を味わい，曲にふさわしい歌唱表現を工夫する (2)　曲種に応じた発声により，美しい言葉の表現を工夫して歌う (3)　楽器の特徴を生かし，曲にふさわしい音色や奏法を工夫して表現する (4)　声部の役割を生かし，全体の響きに調和させて合唱や合奏をする (5)　歌詞にふさわしい旋律や楽器の特徴を生かした旋律を作り，声や楽器で表現する (6)　音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きを理解して表現を工夫する (7)　速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫する 【鑑賞】 (1)　声や楽器の音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きとそれらによって生み出される曲想とのかかわりを理解して，楽曲全体を味わって聴く (2)　速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される曲想の変化を理解して聴く (3)　わが国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を理解して聴く (4)　音楽をその背景となる文化・歴史や他の芸術とのかかわりなどから，総合的に理解して聴く	月	学習内容
	4	合唱の響きと曲想の変化 篠笛・AR
	5	パイプオルガンの響き
	6	日本の歌曲
	7	日本と世界の民謡１
	9	
	10	合唱の響き 交響曲
	11	器楽アンサンブルを楽しもう
	12	
	1	日本と世界の民謡２
	2	総合芸術に親しもう
	3	音楽をつくろう
＊評価の観点・方法 ①　音楽への関心・意欲・態度…提出物，実技，取り組み内容など総合的にみる ②　音楽的な感受や表現の工夫…実技，提出物，テストの中から感受・工夫に関する内容を抽出 ③　表現の技能…実技，提出物，テストの中から表現の技能に関する内容を抽出 ④　鑑賞の能力…提出物，テストの中から鑑賞の能力に関する内容を抽出		
＊使用教材 教科書（2-3年上），教科書（2-3年下），教科書（器楽），教科書（1年），ノート，ファイル，アルトリコーダー，篠笛		
＊学習上の注意・助言 ・ 50 分の授業に集中する ・ 実技に地道に取り組む ・ 提出物はきちんと出す		
＊家庭学習の仕方 ・ 日頃から生活の中で音に耳をすませてみよう。 ・ アルトリコーダー，篠笛などは積み重ねが大事。普段から少しずつ練習しておこう。		